

安全データシート

1. 化学品等及び会社情報

製品名称	GESSOLIO アロマストーン 造形・高精度模型用 石膏
化学品等の名称	硫酸カルシウム・1/2 水和物 (Calcium Sulfate HemiHydrate)
製品コード	25MA001
推奨用途	アロマストーン造形及び高精度模型
供給者の会社名称、住所及び連絡先	
会社名	合同会社エスディジー
住所	兵庫県宝塚市雲雀丘 2-3-34 #208
電話番号	090 9139 6190
電子メール	info@lsdg.jp

2. 危険有害性の要約

化学品の GHS 分類、GHS ラベル要素

GHS 分類	健康に対する有毒性 特定標的臓器毒性（単回ばく露）：区分 3（気道刺激性） （注）記載なき GHS 分類区分：区分に該当しない/分類できない
--------	--

GHS ラベル要素

絵表示



注意喚起語	警告
危険有害性情報	呼吸器への刺激のおそれ
注意書き	
安全対策	粉塵、煙、ガス、ミスト、蒸気、スプレーの吸入を避けること 屋外又は換気の良い場所で使用すること
応急措置	吸入した場合は空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること 気分が悪い時は医師の診断を仰ぐこと
保管	換気の良い場所で保管すること、容器を密閉しておくこと 施錠して保管すること
廃棄	内容物、容器を国や地域の規則に従い廃棄すること

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区分

混合物

成分及び含有量

硫酸カルシウム・1/2水和物 95%未満

上記以外の成分は、日本政府による GHS 分類結果一覧に記載されていません

化学式又は構造式

CaSO₄・1/2H₂O

官報公示整理番号

化審法 1-193

安衛法 1-193

CAS No.

10034-76-1

4. 応急措置

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること

気分が悪い時は医師の診断を仰ぐこと

皮膚又は髪に付着した場合

皮膚を水又はシャワーで洗うこと

外観に変化が見られたり、刺激や痛みがある場合は医師の診断を仰ぐこと

眼に入った場合

眼をこすらない

眼の刺激が続く場合は医師の診断を仰ぐこと

飲み込んだ場合

直ちに口をすすぐこと

必要に応じて医師の診断を仰ぐこと

徴候症状及び影響に関する具体的な情報なし

医師に対する特別な注意事項に関する情報なし

5. 火災時の措置

消火剤

周辺の状況に適した霧状水・粉末・泡・炭酸ガス消火剤を使用

適さない消火剤

棒状水を消化に用いてはならない

特有の危険有害性

火災により刺激性・有毒及び/又は腐食性のガスを発生するおそれがある

消化を行う者への勧告

特有の消化方法

関係者以外は安全な場所に退去させる

消化活動は風上から行う

安全に行える限り、火災場所から燃焼源を搬出する

消化活動を行う者の特別な保護具及び予防措置

保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護マスクを着用すること

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項	関係者以外の立ち入りを禁止し、密閉された場所では換気を行う
保護具及び緊急措置	適切な保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護マスク等の保護具を着用する
環境に対する注意事項	漏れ出したものの下水、排水溝、低地への流出を防止する 粉塵が飛散しないようにする
封じ込め及び浄化の方法及び機材	漏出したものは掃き集めて、袋等の空容器に回収する

7. 取扱及び保管上の注意

技術的対策

取扱者のばく露防止	適切な保護具（保護手袋、長靴、保護眼鏡、保護マスク）を着用すること 粉塵、煙、ガス、ミスト、蒸気、スプレーの吸入を避けること 取扱場所には、関係者以外の立ち入りを禁止する
火災・爆発の防止	熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること
局所排気・全体排気等	排気・換気設備を設けること
安全取扱注意事項	屋外又は換気の良い場所で使用すること 適切な保護具を着用すること 取扱後は手や汚染箇所をよく洗うこと 取扱中の飲食は避けること
接触回避	強還元性物質、ジアゾメタンとの接触を避けること

保 管

安全な保管場所	換気の良い場所で保管すること、容器を密閉しておくこと、施錠すること
安全な容器包装材料	破損や漏れのない密閉可能な容器を使用すること

8. ばく露防止及び保護措置

管理指標

許容濃度	日本産業衛生学会 <硫酸カルシウム・1/2水和物> 第3種粉塵 吸入性粉塵：2mg/m ³ 、総粉塵：8mg/m ³ ACGIH(2017年度版)<硫酸カルシウム・1/2水和物> 鼻の症状：TLV-TWA 10mg/m ³
------	---

ばく露防止 設備対策	排気・換気設備を設ける 洗眼設備を設ける 手洗い・洗顔設備を設ける
------------	---

保護具	呼吸用保護具	：	防塵マスクを着用すること
	目の保護具	：	保護眼鏡やゴーグル等を着用すること
	手の保護具	：	保護手袋を着用すること
	皮膚及び身体の保護具	：	保護衣、保護面等を着用すること

9. 物理的及び化学的性質

物理的形状及び色	白色微粉末
臭い	無臭
PH	データなし
融点/凝固点	データなし
沸点又は初留点	データなし
引火点	燃焼しない
発火点	不燃性固体
爆発特性	データなし
分解温度	700 度以上 (硫酸カルシウム・1/2 水和物)

10. 安定性及び反応性

化学的安定性	通常の取扱・保管条件において安定
反応性	水と反応して硬化する
危険有害反応可能性	ジアゾメタン及び加熱環境でのアルミニウム粉末との接触により爆発を生じる危険性あり 強い還元剤及び加熱環境でリン酸と激しく反応する
避けるべき条件	第7章を参照すること、加熱
混触危険物質	強還元性物質、ジアゾメタン
危険有害な分解生成物	加熱による分解で酸化カルシウム、二酸化硫黄が生成

11. 有害性情報

急性毒性

経 口	<製品> データ不足のため分類できない <成分> NITE-CHRIP ラット LD50>5,331mg/kg ※ 被試験物質：硫酸カルシウム無水物 5,500mg/kg から換算
-----	--

経 皮	<製品> データ不足のため分類できない <成分> データなし
-----	-----------------------------------

吸 入	<製品> データ不足のため分類できない <成分> データなし
-----	-----------------------------------

局所効果

皮膚腐食性/刺激性	<製品> データ不足のため分類できない <成分> ラット、区分外 (OECD TG 404, GLP 適合) ※ 会社固有データ 眼に対する重篤な損傷性/刺激性 <製品> データ不足のため分類できない <成分> データなし
-----------	---

呼吸器感作性又は皮膚感作性

呼吸器感作性	<製品>	データ不足のため分類できない
	<成分>	データなし
皮膚感作性	<製品>	データ不足のため分類できない
	<成分>	データなし
生殖細胞変異原性	<製品>	データ不足のため分類できない
	<成分>	データなし
発ガン性	<製品>	データ不足のため分類できない
	<成分>	データなし
生殖毒性	<製品>	データ不足のため分類できない
	<成分>	データなし
特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	<製品>	区分3、呼吸器への刺激の恐れ
	<成分>	NITE-CHRIP 区分3 (気道刺激性) 会社固有データ 区分3 (気道刺激性)、ACGIH 7 th ,2006
特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	<製品>	データ不足のため分類できない
	<成分>	データなし
誤えん有害性	<製品>	データ不足のため分類できない
	<成分>	データなし

12. 環境影響情報

生態毒性

水生環境有毒性	<製品>	データ不足のため分類できない
	<成分>	データなし
残留性・分解性		データなし
生体蓄積性		データなし
土壤中の移動性		データなし
オゾン層への有毒性		データなし

13. 廃棄上の注意

化学品、汚染容器及び包装の安全で、且つ環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報

廃棄物の処理方法	内容物/容器を地方及び国の規則に従い廃棄すること 都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、又は地方公共団体が廃棄物 処理を行なっている場合はそこに委託して処理する
汚染容器及び包装	内容物を使い切ってから、容器を廃棄すること

14. 輸送上の注意

国連番号、国連分類

国連番号又は ID 番号	該当しない
正式輸送名	該当しない
分類又は区分	該当しない
容器等級	該当しない

IMDG Code (国際会場危険物規程)

国連番号又は ID 番号	該当しない
正式輸送名	該当しない
分類又は区分	該当しない
容器等級	該当しない

IATA (航空危険物規則書)

国連番号又は ID 番号	該当しない
正式輸送名	該当しない
分類又は区分	該当しない
容器等級	該当しない

環境有害性

海洋汚染物質 (該当/非該当) 該当しない

特別の安全措置

本書「7.取扱い及び保管上の注意」を参照

輸送に際しては直射日光を避け、容器の破損・腐食・漏れなきよう積み込み、荷崩れ防止を確実にを行う
重量物を上積みしない

水濡れ厳禁 雨天及びその恐れがある場合はシートを掛ける

トラックの荷台へ直接積まず、乾いたパレット等を敷いてその上に積む

国内規制がある場合の規制情報

船舶安全法に該当しない

航空法に該当しない

15. 適用法令

労働安全衛生法	特化則に該当しない 有規則に該当しない 名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物に該当しない
毒性及び劇物取締法	該当しない
消防法	該当しない
化学物質管理促進法	該当しない
化審法における特定化学物質、監視化学物質、優先評価化学物質	該当しない
海洋汚染防止法	該当しない

16. その他情報

参照文献及び情報源

Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, UN
Recommendation on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 23rd edit2023, UN
IMDG Code, 2024 Edition(Incorporating Amendment 42-24)
IATA 航空危険物規則書 第 66 版 (2025 年)
2024 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK(US DOT)
2025 TLVs and BEIs. (ACGIH)
Supplier's data/information

責任の限定について

本安全データシート(SDS)は、現時点で入手できる資料データに基づいて作成しており、新しい知見により改定することがあります。又、本安全データシート(SDS)の注意事項は、通常の手扱いを対象としたものとなっています。化学品使用者が特殊な取扱いをされる場合は、用途・使用法に適した安全対策を施した上で、化学品をご使用ください。

当社は本安全データシート(SDS)記載内容について十分に注意を払っていますが、その内容を保証するものではありません。ここに記載した GHS 分類区分の算定根拠は現時点における日本公表データ(独立行政法人 製品評価技術基盤機構 化学物質総合情報提供システム(NITE-CHRIP 令和 5 年度/2023 年度 公表分まで)です。